



翁媪杉が見守っています

大杉 みゆき
(塩庭一区出身/東京支部)

私は、塩庭で生まれました。生まれた家の近くには、諏訪神社の参道があり杉の古木が立ち並び、その中に「翁スギ」「媪スギ」と呼ばれる、ひと際見事な一対の夫婦杉があります。推定樹齢1,200年といわれ地域の守り神であり、昭和12年には国の天然記念物に指定されました。私たちは「翁媪杉」と呼び、子ども頃の遊び場でありました。また地域の中心の場所だったように記憶しております。私は中学を卒業するまで暮らした地だけに思い出がたくさんよみがえります。二本の杉が真つすぐに伸び威厳を発しているようで、くじけそうな時はいつも「翁媪杉」を思い出し、頑張ってきました。

小さい時から大好きだった歌を歌い、じいちゃんやばあちゃんに「幸江は歌が上手だね」と褒められるのがうれしくて、いつも美空ひばりの「港町十三番地」を歌っておりました。今でも仕事をしながら、東京の北多摩地域を中心にコンサートや歌の好きな皆さんの発表会などを主催しております。

昨年11月に小野町が開催した「小町ふれあいフェスタ」に「ふるさと小野町会」の皆さんとご一緒に参加いたしました。多くの参加者がいらっしやるのに、私の出番をつくっていただき、故郷の皆さん・空気・土の匂いに抱かれ、一生懸命歌えました。大きな激励の拍手を頂き感動い

たしました。私が出場する会場では必ず、義援金の協力を呼びかけており、当日は昨年の3月11日の大震災・原発被害と二重の被害に苦しむ小野町の皆さんにと、頂いた義援金を宍戸町長に直接お渡しすることができて大変うれしく思っています。帰りに私の名前「大杉みゆき」の大杉を頂いた、諏訪神社の翁媪杉に立ち寄りさせていただき、今も元気に歌えていることを、改めて感謝して帰路に着きました。育てていただいたふるさと小野町に心から感謝し、今後ともご支援よろしくお願いいたします。

広告欄

好評発売中!!

サマージャンボ

2000万サマー

◆発売期間◆
7月9日～7月27日

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。

